

おこづかい帳の付け方

東北大経済学部・吉田浩教授に聞く

何に使ったかを分類

なぜ高い？疑問大切

あらゆるモノやサービスの価格が上がり、井勘定でお金を使っているとすぐに無くなってしまふね。東北大経済学部の吉田浩教授(61)におこづかい帳の付け方などを聞いたよ。

「おこづかい帳を書くときのポイントを教えてください。」

「まず第一に大事なのは、お金の出入りをちゃんと記録することです。お金を何に使ったのかも、しっかりと分類しましょう。『これは勉強のため』とか、『こ

れは遊びのため』とか。おこづかい帳を見返したとき、自分のお金の使い方を把握できることが大事です」

「おこづかい帳はいつ始めるといいですか？」

「幼稚園児は難しいかと思いますが、小学校低学年からは可能かと思えます。毎月決まった金額のおこづかいをもらうと、お金の管理に責任が出てきます」

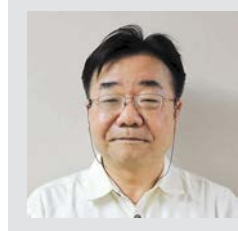
「物価上昇とどう向き合えばいいでしょうか。」

「モノが安くて何でも買えるなら、お金のことであまり苦労しません。物価が上がっている今の状況を金銭感覚を磨くチャンスと捉え、お金を計画的に使うようにしましょう」

「『どうしてこんなふうにお菓子の値段が上がっているのだろう』などと疑問を持つことも大切です。原材料費や輸送コストの影響について親子で勉強したり、話し合ったりするのもいいかもしれません」

おこづかい帳

日付	内容	入ったお金	使ったお金	残りのお金
				800円
	△リコレ			2300円
11/1	おこづかい	1500円	320円	1980円
11/10	お菓子			2080円
11/12	お支払い	100円	600円	1480円
11/23	お支払い		100円	1380円
11/25	お支払い			1480円
11/26	お支払い	100円		



よしだ・ひろし 1964年、東京生まれ。一橋大学大学院博士課程満期退学。2007年から現職。専門は加齢経済。東北大高齢経済社会研究センター長、公益財団法人仙台こども財団（仙台市）の理事も務める。

うんこ先生

子どもに人気の学習教材「うんこドリル」のキャラクター「うんこ先生」が出演した親子向け金融経済教育イベント「未来のためのお金の教室」（金融庁、東北財務局主催）が10月25日、宮城県利府町のイオンモール新利府でありました。

うんこ先生は人気のお笑い芸人と登場。「友達から『お金を貸して!』」と言われた。どうすればいい?」など、お金にまつわるクイズを4問出題し、お金の上手な使い方やトラブルに巻き込まれないための注意点を伝えました。

お金の知識を学ぶステージショーには、お笑いコンビ「南海キャンディーズ」のしずちゃんも登壇。金融アドバイザーから「人生の3大費用」を問われると「酒、男、ギャンブル」と即答し、会場の笑いを誘いました。正解は「住宅、教育、老後」でした。

利府町の利府三小3年の門馬利旺さんは「好きなお笑い芸人にも会え

お金の上手な使い方助言

て、すごく楽しかった。お手伝いをしてお金をためたり、無駄遣いをしないようにしたりしたい」と話しました。

イベントは金融庁と財務省が今年

5月から展開する全国キャラバンの一環で、東北での開催は初めて。金融庁は2021年からうんこドリルと連携し、子どもたちへの金融経済教育を推進しています。



お笑い芸人とステージショーに出演した「うんこ先生」（中央）＝10月25日、宮城県利府町のイオンモール新利府

利府で親子向けイベント